



2021年11月10日

各 位

会社名 日本製麻株式会社
 代表者名 取締役社長 中本 広太郎
 (コード番号 3306 東証第2部)
 問合せ先 取締役経理部長 中川 昭人
 (TEL. 078-332-8251)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、2021年5月14日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

2022年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,679	77	73	62	16.91
今回発表予想(B)	1,590	21	28	17	4.77
増減額(B-A)	△89	△56	△45	△45	—
増減率(%)	△5.3	△72.7	△61.6	△72.6	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	1,719	60	69	71	19.48

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,354	171	163	141	38.46
今回発表予想(B)	3,091	33	36	25	6.82
増減額(B-A)	△263	△138	△127	△116	—
増減率(%)	△7.8	△80.7	△77.9	△82.3	—
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	3,275	11	20	95	25.98

2022年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,283	68	62	16.91
今回発表予想(B)	1,088	27	16	4.59
増減額(B-A)	△195	△41	△46	—
増減率(%)	△15.2	△60.3	△74.2	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	1,211	75	72	19.72

2022年3月期通期個別業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,548	154	141	38.46
今回発表予想(B)	2,212	50	33	9.00
増減額(B - A)	△336	△104	△108	—
増減率(%)	△13.2	△67.5	△76.6	—
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	2,396	101	128	34.95

修正の理由

(1)連結業績

2022年3月期第2四半期連結業績につきましては、マット事業の海外子会社が販売数量を伸ばしたものの、個別業績の食品事業の影響を受け、売上高は前回発表予想を下回る見込みです。営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、マット事業は廉価なタイプの販売が中心であったため利幅が薄く、食品事業の減収の影響もあり、前回発表予想を下回る見込みです。下期の業績見通しは食品事業の影響と、マット事業において、自動車メーカーの半導体不足や部品調達難による生産調整に伴う受注の減少が予想されるため、通期連結業績予想につきましても修正いたします。

(2)個別業績

2022年3月期第2四半期個別業績につきましては、食品事業のパスタは昨年の品薄状態が解消され、家庭用商品の販売が大きく減少し、売上高は前回発表予想を下回る見込みです。これに伴い経常利益、四半期純利益も前回発表予想を下回る見込みです。下期の業績見通しにつきましても食品事業のパスタの原料小麦粉の値上げや、石油価格の高騰による物流費等の上昇が利益を圧迫すると予想されるため、通期個別業績も修正いたします。

(注)上記の業績予想は、本資料の作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により、本予想数値と異なる可能性があります。

以上